

夏への挑戦

市長 明智忠直



梅雨が明けるといよいよ夏への挑戦が始まります。人も自然も、そして市も、各方面で夏への準備を進めていると思います。

旭市の大きなイベントであり、また、あさひ砂の彫刻美術展、今年も旭文化の杜公園ふれあい広場で開催が予定され、今その準備で日に日に形が見えてきているところでもあります。全国ふるさとイベント大賞で優秀賞を獲得した催しであり、昨年より多くの人出と、充実した作品が出来上がることを期待しているところです。

旭市いいおかY・O・U・遊フェスティバルの花火をモデルにした、約20年前の実写映画(岩井俊二監督「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」がアニメ化され、今年8月18日から全国に公開されると聞いております。この機会に実行委員会も盛り上がり、

なお一層の集客と、観衆の感動を呼ぶ打ち上げ花火も、海辺の夏の思い出づくりとなるよう期待するものです。

第63回を迎える旭市七夕市民まつりも、今年はミス七夕コンテストの50周年を記念して名称を「ミス七夕」から「ミスあさひ」に変更するそう、生まれ変わったコンテストに多くの参加者がいることを楽しみにしています。

今後、夏に向けて関係者の皆さんの挑戦が始まるわけで、より旭市のPRにつなげてほしいと思います。

スポーツも夏が本番です。去る5月には東部五市体育大会が旭市を会場に開催されました。今年旭市が見事36年ぶりに優勝を果たしました。選手の皆さん、役員の方々に心から感謝し、お祝いを申し上げたいと思います。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／18日(火)、20日(木)、毎週月曜日

岡市図書館(☎62-2560) <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

女系の教科書



藤田宜永 著
(講談社)

退職後の気楽な生活を送る森川は、女性絡みの災難に次々見舞われる。奮闘する男の姿を描いたシリーズ第2弾です。

こどう 孤道



内田康夫 著
(毎日新聞出版)

熊野古道で起きた殺人事件は、古墳に眠る貴人のたたりなのか。著者休筆のため未完のまま刊行された浅見光彦シリーズ最新作。

新着図書

- 天下人の父・織田信秀(谷口克広)
- 超老人の壁 (養老孟司)
- ある日うっかりPTA(杉江松恋)
- 元素生活 (寄藤文平)
- 葉はリスク? (宮坂信之)
- 続ける力 (若田光一)
- 魔法のゼリー (荻田尚子)
- 字が汚い! (新保信長)
- 文士の遺言 (半藤一利)
- 遠縁の女 (青山文平)
- 獺の耳たぶ (芦沢^{よう}央)
- 幸福のパズル (折原みと)
- さようなら、お母さん(北里紗月)
- ライオン・ブルー (呉勝浩)
- 団塊の後 (堺屋太一)
- 会津執権の栄誉 (佐藤巖太郎)
- 月の満ち欠け (佐藤正午)
- ラブ・ミー・テンダー(小路幸也)
- 百年の散歩 (多和田葉子)
- かがみの孤城 (辻村深月)
- 冬雷 (遠田潤子)
- 万次郎茶屋 (中島たい子)
- ひとめぼれ (畠中恵)
- 劇場 (又吉直樹)
- あとは野となれ大和撫子 (宮内悠介)
- おもちゃ絵芳藤 (谷津矢車)
- BUTTER (柚木麻子)

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／7月13日(木)、27日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館